

## あんしん西宮便り vol.7

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。

今回は人工関節医、坂本昌宏(さかもと まさひろ)先生にお話を聞きました！



あんしんクリニックで人工関節手術を主に担当している坂本と申します。膝関節、股関節に対する手術がほとんどで、対象となる疾患は変形性関節症、いわゆる年齢性変化(使い傷み)によるものがその大半を占めています。高齢化に伴い、加齢性変化による痛みでお悩みの患者様も年々多くなっています。年齢性変化ですから程度は人それぞれです。まずはその程度をレントゲンやMRI画像で診断しましょう。ただし画像だけですべてがわかるわけではありません。問診や理学所見からその痛みの原因を診断し、それに対する治療を行っていきます。

診断がつけばその治療となりますが、生活指導、投薬、関節注射、リハビリ、装具療法などがあります。様々な治療を行ったにもかかわらず、治療効果が乏しい場合は最終的な治療として手術治療となります。

手術にもいくつかの選択肢がありますが、変形の程度、患者様の生活スタイル、年齢などを考慮して決めていきます。主なものとしては関節鏡による滑膜切除や半月板手術、矯正骨切り術、人工関節置換術などになります。

人工関節手術について少しお話をします。手術治療の中でも最終的な手術が人工関節手術になるかと思えます。変形した関節由来の痛みに対しては根治的な治療効果が期待できません。ただし、手術で全ての痛みが取れるわけではありません。関節の柔軟性、筋力は手術だけでは改善しませんので術前後のリハビリもとても大切です。

変形性関節症は年配の方に多いですが、中には比較的若くして変形してしまう方もおられます。例えば若い頃に怪我をした後遺症であったり、元々変形の起こりやすい方であったり、関節リウマチなどの疾患に伴う変形などが考えられます。人工関節には耐久年数があり、若い方は再手術のことを考え、手術に踏み切れない方が少なからずおられます。しかし若くして出かけたとき、動きたいときに痛みのためにそれが制限されることはとてもつらいことです。人工関節の術後は患者様のご都合が問題なければ最後まで当院が責任をもって経過をみますので、若い方も再手術を怖がらず、ぜひ相談していただければと思います。



\*\*\*\*経歴\*\*\*\*

福井医科大学 (現福井大学医学部) 卒  
京都大学附属病院 整形外科入局  
京都市立病院 整形外科  
滋賀県長浜赤十字病院 整形外科  
愛知県一宮病院 整形外科  
あんしんクリニック 現職







あんしんクリニック西宮のホームページがあることをご存知ですか？

今お読み頂いているあんしん西宮便りのバックナンバーの掲載や、ホームページにしかない「あんしん知恵袋」といったQ&Aコーナーも充実しているので、ぜひ一度ご覧になってみてください！

「あんしん知恵袋」、少しだけ覗いてみましょう！

自宅で作れるリハビリを教えてください！

日常生活において、どのようなことに気をつければいいですか？

あんしんクリニック膝リハのアピールポイントをお願いします！



これはほんの一部ですが、こうした様々な質問に、あんしん職員が回答しています。(現在は理学療法士さんへの質問が中心です) 答えが気になる方は、ぜひあんしんクリニック西宮ホームページをチェックしてみてください！



こちらのQRコードからご覧いただけます>>>>

クリニックからのお願い

マスクは不織布の使い捨ての物のご使用を。  
ご来院時のお連れ様は原則1名様まで  
予約時間より30分以上早くご来院されると  
院内でお待ちいただけません

感染症拡大防止に  
ご協力ください

2023.1

